

【認知症対応型共同生活介護用】

評価結果概要表

作成日 平成21年3月2日

【評価実施概要】

事業所番号	170400410		
法人名	有限会社ケアネット		
事業所名	グループホームみやこ		
所在地	006-0822 札幌市手稲区前田12条10丁目13-8 (電話) 011-699-7755		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年2月25日	評価確定日	平成21年3月16日

【情報提供票より】 (平成21年1月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 5 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 4 人, 非常勤 5 人,	常勤換算3.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階 建ての	1 ~ 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	冬季暖房費7,000 円
敷 金	有 (円)	○無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		900 円

(4) 利用者の 概要 (平成21年1月14日)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護 1	0	要介護 2	6
要介護 3	3	要介護 4	0
要介護 5	0	要支援 2	0
年齢	平均 86.6 歳	最低 72 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	西成病院 琴似ロイヤル病院 創心メンタルクリニック 川中歯科医院
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは閑静な住宅街に位置しており、玄関前は広い公園に面している。グループホームとして建築された2階建ての新しい建物である。内部は利用者や職員の動きに配慮された安全で機能的な造りになっている。職員は穏やかな態度で接し家庭的な雰囲気である。利用者の表情は明るく、一人ひとり生活を楽しむ姿がみられ、家族の信頼と安心を得ている。ホームは地域社会との交流も行われており、ホーム機能を地域に還元するようにとり組み、今後に期待されているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	評価を活かして改善計画シートを作成している。栄養、情報伝達、研修、ホーム機能の地域還元など自主的にきめ細かく行い改善をはかっている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価に参加し、内容を検討し職員の意識向上やケアの見直しを行ない、今後のサービスの質の向上に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は地域包括支援センター、地域、家族、ホーム関係者によって構成され2ヶ月毎に開催され記録されている。会議の内容はホーム活動報告の他避難訓練、災害対策、後期高齢者医療制度の説明等時宜に応じた課題内容となっており、討議内容を活かした取り組みをしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情箱を玄関に設置しており、公的機関の苦情窓口を明示している。家族へは「たより」を毎月送付してホームの生活ぶりを報告し、ホーム来訪時には話を聞くようにしている。運営推進会議参加の家族からの意見も参考にして運営に反映している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入しており、祭りやラジオ体操等時々行事に参加している。地域の学校で催されている音楽演奏を聴きに行ったり、地域の人々がホームを訪問することもあり、交流をはかっている。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一人ひとりの生活を大切にして住み慣れた地域での安心した暮らしを支えるための「ゆっくり、楽しく、一緒に」の事業所独自の理念を策定している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は額に入れて玄関に掲げ、日々の業務やカンファランスの中でとりあげ、互いに共有し実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、お祭りやラジオ体操等の行事に参加している。地域の中高校で催されている音楽演奏会を聴きに出かけたり、日常的にも地域の人々がホームを訪問する等の交流が行なわれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全員が自己評価に関わり、評価の意義を理解している。自己評価・外部評価の結果を踏まえて改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2カ月に1度、地域包括支援センター職員、町内会役員、地域住民、利用者家族等参加のもと開催され、記録されている。ホーム運営内容報告の他、避難訓練、災害時対応、後期高齢者医療制度等適時な課題について協議しサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市主催の研修への参加を行い、不明なことや相談ごとがある時は随時連絡をとりアドバイスを受けるようにしており、市と共にサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月定期的に「みやこたより」を発行しており、ホームの様子を家族に伝えている。家族来訪時には、個々にあわせた報告を行ない、健康状態、金銭管理についても手紙や電話等で詳細に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>公的機関の苦情相談窓口を案内しており、ホーム内に苦情箱を設置している。家族来訪時には、家族の要望等を聞いており、家族の意見や要望が運営に反映されるようになっている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職を最小限に押さえる努力をしており、異動があった場合は利用者に精神的サポートを行なうよう配慮している。又「たより」で職員紹介する等して、利用者ができるだけ馴染めるように配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は管理者や職員が法人内外の研修会に積極的に参加するよに働きかけている。研修結果は発表報告し、全職員が共有するように行ない、働きながらの学びの機会が保たれるよう進めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者や職員は、地域ケア会議やグループホーム連絡協議会に参加する等してサービスの質の向上に励んでいる。更に職員達による他事業所との相互訪問についても検討しているので期待したい。</p>		<p>グループホームの相互訪問を行い、テーマを決めてグループワークするよう検討している。</p>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に職員が自宅に出向いたり、家族が事業所見学を行なう等して、本人、家族と話し合い、納得を得てからの利用をすすめている。事情があり急にサービスを利用される方については、安心して馴染めるよう家族と相談して工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の喜びや悲しみなどの思いを共感し、暮らしの中で分かち合い、一人ひとりの経験や力が発揮できるよう配慮しながら、共に支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>共に生活する中で一人ひとりの思いや希望の把握に努めており、過去の経歴や家族の話からも情報を得ている。本人の意向を尊重した支援ができるように努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃の関わりあいの中で利用者の思いや意見を聞き、家族の要望を取り入れ、職員、ケアマネージャー、医師とも協議を重ね適切な介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は定期的な見直しの他に、個々の心身の状況の変化や本人、家族の希望等を取り入れ、随時見直しが行なれており、現状に即した計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者希望の病院受診の送迎や外出援助を行なう等、状況に応じて必要な支援に柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所の協力病院には定期的に通院して看護師である管理者と共に健康管理を行なっている。利用者が希望するかかりつけ医への通院支援も行ない、結果を家族に報告する等して、一人ひとりが常に適切な医療が受けられるように支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方については、本人や家族の意思を尊重した話し合いを、職員、医師等を交えて行い、関係者全員で方針を共有するよう検討している。</p>		<p>事業所が対応し得る最大の支援方法を踏まえて、本人、家族の意思確認がなされ、早期に事業所としての方針が関係者に共有できるよう期待したい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者の誇りを損ねることのないように、言葉かけや態度に配慮して支援している。文書やパソコン等の個人情報記録の取り扱い保管には細心の注意をはらい、プライバシーに配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的なホームとしての1日の流れはあるが、一人ひとりのペースや体調を考慮しながら、できるだけ個々の希望に沿う様に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの興味や能力に応じて、職員と共に食事の準備や後片付け等を行なっている。テーブルを囲み穏やかな雰囲気の中で食事をし、食事が楽しみになるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一週に2回以上の入浴日が決められているが、利用者の希望や体調、タイミング等に応じて時間、回数は適時に行なっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や興味、身体状況に配慮して、一人ひとりの思いに沿った役割や楽しみごとの支援をしている。(食事準備、フキンたたみ、碁、将棋、畑仕事、縫い物、歌等)		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に一人ひとりの希望に応じて買い物や散歩ドライブ等に付き添い外出支援をしている。ホーム行事としても戸外での催しごとが計画的に行なっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関に鍵はかけていない。利用者の動きをそれとなく察知してさりげなく声をかける等安全面に配慮しながら行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、災害訓練を年2回利用者と共に実施している。運営推進会議において市の危機管理対策課職員を招き災害対策について学習し、地域の人々にも協力を働きかけている。		
かい					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事や水分摂取状況を記録確認し、摂取総量が確保されるよう支援している。医師や栄養士のアドバイスを受け献立を確認し、適切な食事提供がなされるよう行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関奥フロアには、お雛様が飾られ季節感がある。居間は日当たりが良く、広い窓からは景色が眺められ、庭で飼われているペット犬の様子がみとれる。エレベーターや各所に手摺が設置され、安全面に配慮した造りになっており、温湿度、換気も適切で居心地よく過ごせるよう工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具やベット、テレビ、家族写真や仏壇など馴染みの物を持ち込んでいる。清掃もゆき届いており、居心地良く過ごせるよう配慮している。		

 は、重点項目。